

学生生活のTOPICS

【国際会議参加 (HPAIR)】
ハーバード大学で行われた国際会議に参加し、タンザニアの医療政策を題材に議論。よりレベルの高い語学力を身につけなければと焦りを実感するとともに、国境を超え、活躍できる場を広げていきたいとの強い思いが芽生えました。



【香港大学への交換留学】
勉強以外では、主にスポーツ (ハンドボール・ソフトボール・水球) を通して現地学生と交流。留学中、香港で働く創価大学卒業生に会い、さまざまビジネスについて話を聞く中で、民間企業就職という選択肢を得ました。



【内閣府事業 (オーストリア派遣)】
ドイツ隣国、オーストリアへの3週間の派遣プログラムでは、現地赤十字社の取り組みをはじめ、様々な機関の活動を学びました。民間企業に就職後も、幅広く活動していきたいと考えるきっかけとなりました。



TOSHIBA への道

- 説明会&インターンシップへ参加
幅広いビジネスと仕事内容を営業や調達などの職種レベルで詳細に把握。
- エントリーシート作成&応募
自身の経験、考え方、やりたいことを文字に起こし、働きたい企業へ応募。
- すべてをぶつける面接
「私はこういう人間で、こんなことを成し遂げたい」と本気で語る。

東芝で働くうえで
私が必要と思う
SOKA Generic Skill

- 《目標達成力》
- 《環境変革力》
- 《数量的分析力》

創価大学をやめて医学部に進むつもりでしたが、「絶対に創価大学を卒業するんだよ」との祖母の後押しもあり、いまいる場所で学び続けることを決めた。

自分のやりたいことを実現する働き方はどこにあるのだろうか

それからの渡邊は創価大学にきた意味を見出そうと、興味を持ったことすべてに挑戦した。3年次には交換留学で香港へ。留学中、現地の金融機関で活躍する卒業生に出会った。ビジネスの魅力を熱く語る先輩の姿に、医師以外にも多様な働き方があることを知り、民間企業就職を考えるようになった。

帰国後は、あらゆる企業のインターンシップに参加。様々な業界の仕事を知り、

民間企業で社会の仕組みを変えていきたいと気持ちは固まった。さらに、海外との接点を持ち続け活躍できる場所を広げていきたいという想いから、グローバルメーカーへの就職を決めた。

「国際教養学部で語学力を磨いたおかげで、医学部に進んでいたらできなかったさまざまな経験を積めました。やりたいことを見つけるために挑戦してきたことすべてがいまにつながっています」。紆余曲折の末に見つけた道を、渡邊は今日も前進する。

「いまいる場所でやりたいことを見つけたら、がむしゃらに行動し続けた5年間でした」。渡邊は当時を振り返り、笑う。幼いころから医師になるのが夢だった。医学部をめざし浪人もしたが、不合格。留学できるのであればと国際教養学部へ入学した。

とにかくやりたいことを見つけるために幅広く学んだ。しかし、医師以上に情熱を持てるものは見つからない。アメリカ留学中には、授業と並行し、再度医学部をめざし勉強した。帰国後、海外大学

受験と時期を同じくして、アメリカで開催された国際学生会議に参加。「医療政策立案」チームで世界各国の学生とディスカッションを重ねた。医療制度、衛生問題、貧困。課題解決には、グローバルな視点で世の中を変える力が必要だと実感した。「医師のほかにも道があるのではないか」。医師として目の前の患者を救うことをめざしてきた渡邊の心に、初めて迷いが生じた。創

医師になりたい、その夢を諦めての入学だった

医学部を受験し、念願の合格を果たした。

本当に医師になっていいのだろうか

本当に
医師
になっていいの
だろうか

渡邊 徳章
Naruaki Watanabe



Chapter 01
STORY

06